

第 1 回
名寄市総合計画策定審議会
専 門 部 会 議 案

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 部会長及び副部会長の選出について

(2) 部会の審議事項の確認について

(3) 前期計画の実績と課題（概要）について

4 その他

○ 日 時 平成23年2月21日（月）

○ 場 所 名寄市立大学 恵陵館3階

専門部会名	会場
市民生活環境部会	講義室 238
保健医療福祉部会	講義室 237
教育文化スポーツ部会	講義室 236
産業経済部会	講義室 235
都市基盤整備部会	講義室 234

別添 教育文化スポーツ部会発言内容（平成 23 年 2 月 21 日）

（司会）高橋学校教育課長

（挨拶）鈴木教育部長

— 事務局 自己紹介 —

— 各委員 自己紹介 —

（1）部会長、副部会長の選出

事務局から腹案提出との意見から、

事務局から 部会長に榎山委員、副部会長に宮澤委員、稲益委員の選出を提案。

各委員了承のもと、決定。

— 以降、榎山部会長の司会進行 —

（2）部会審議事項の確認について

（3）前期計画実績と課題（概要）について

（説明）高橋学校教育課長

（質疑応答）

委員：質問が思いつかないわけだが、前ははどうだったか？

委員：前は文言整理から始まり、この文章でいかどうかという議論だった。私たちが意見を言って、役所が文章を作る感じではなかったため、何を言っているのかわからなかった。事務局からは「夢を語ってください」と言われ、「何か事業をやるには予算が必要になる。必要なものを教えてください」と言われた。理想があっても金がないとできないわけで、「優先順位をつけてください」「限られた予算の中でやっていきたい」と言われてから気が楽になった。今回は予め事業が掲載されているため、そこから優先的にやっていくものを考えていけばいいのではないかと思う。新しい事業や不要な事業を出し合っていく形でいいのではないか。

委員：5年間と言っても時代は1年で変わる。自分たちの生活に合うものも必要であるし、時代に応じて早く実施した方がいいもの、この事業はもういらぬというものを提供していただきたい。

委員：後期計画で残っている事業として、各小学校の改築事業等が掲載されているが、優先順位をつけることに対して私たちには情報はあるのか？

高橋課長：小学校適正配置と学校改修をあわせて考えていかなければならない。市内の学校5つを4つに再編するという報道もされている。そうしたことも含めて、どこの学校を最優先するかという議論になると思う。

委員：計画には改修があるが、再編の話が出ているという情報が提供されなければ意見を出せない。

委員：前期計画の総括がなければ前に進まない。冊子だけではわからない。

三澤局長：概要は『地域向上力をめざして』という広報別冊で簡単にまとめてある。これと個別の数字が入っている資料を照らし合わせると見えてくると思う。後期計画は漠然とした計画となっているため、肉付けが必要になってくると思われる。特に大学生も委員になっているので必要なものを提供していただきたい。

委員：次回の会議は何か提案があつての開催となるのか？

高橋課長：次回の資料として示す『総合計画前期計画点検シート』を基に意見をいただきたい。

委員：次回会議でシートを見て、それから考えることになるのか？

三澤局長：事前にこちらから資料をお配りさせていただき、目を通していただいて、当日、議論していきたい。事務局としては事前に渡したいと思っている。

委員：天文台をいかしたまちづくりの総括をした場合、完成をもって終わりなのか、計画には「全国に発信する」となっており、そこまで取り組んでいくのか？

高橋課長：施設整備はできたとしてもソフト事業は出てくる。今後、天文台をどう活用していくという課題は後期計画の中で見えてくる。

委員：ここの部会では学校も一緒となっている。学校関連の事業に盛り込むならいいが、観光事業に盛り込む場合、他の部会との接点はあるのか？

委員：この部会で提案していただき、総務部会で調整することになる。

— 委員一人一言ずつ感想 —

高橋課長：次回の専門部会の日程については、3月定例会以降の開催を予定している。4月になると統一自治体選挙があるため、3月に行いたいと思っている。